

【健育会グループの病院・施設で働いて感じた 仕事のやりがい】

職種：調理師 勤続年数：8年3ヵ月

時期：平成30年10月

日々の充実感が仕事のやりがい

私は2010年に茅ヶ崎セントラルクリニックにパート調理員として入職をしました。その後、常勤職員に登用していただき、昨年60歳で定年を迎え現在は嘱託という形で厨房での給食業務に関わっています。

フルタイムで就業している人のほとんどの人は1日のうちの約1/3が仕事をしている時間として占めていると思います。私も1日の仕事が終わりに、終業のタイムカードを押すときに心地よい疲労感と共に感じる充実感が日々を支えています。

私にとっての仕事のやりがいとは自分の仕事を好きになり、楽しむことから始まると考えています。愛情をもって仕事をするすることで、患者さんや職員が美味しそうに食事を召し上がっていただく姿を見ることができ、結果的には自分自身も向上し、次につながる成果を生み出すことができると思います。

これからも、働けるありがたさを感じながら自ら目標を持ち、一分一秒を大切に一日一日を送りたいと思っています。